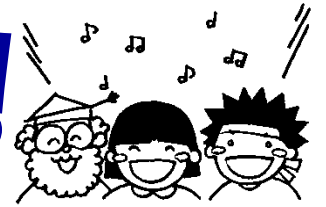


12月

展覧会 動物の子!



1年

みんなで作ると楽しいね。

1年生は、お花がみをちぎったり、液体のりにつけて貼ったり、粘土をこねたりと手の感触を味わいながら作品をつくっていきました。

9月の頃は、素材を楽しみながらつくることに戸惑ってしまう児童もいましたが、「こうやるときれいだね。」や「次はこうつくってみよう。」などの声が出てきました。

特に、共同制作の「むすんで むすんで」では、フラフープにスズランテープを結ぶことから、編んだり、途中でしばったりとどんどん工夫が見られました。

一人一人の作品も素敵ですが、みんなの作品が揃うともっと素敵だということに気付くことができた展覧会でした。



2年

あしあとさがし大成功!!

2年生は共同制作「あしあとさがし」で足跡作りに挑戦しました。

足跡は、自分たちで動物を選び、図鑑から足跡を探しました。

次に、シールの台紙に足跡を描き写し、はさみで切りました。

細かいところまで丁寧に切り離すのは難しかったですが、

最後まであきらめず取り組みました。そして、展覧会前日に体育館の床にペタペタ貼りました。寒さでかじかむ指を一生懸命動かしながら、夢中で足跡を貼りました。展覧会当日は様々な学年の人やおうちの人に足跡を見てもらって、自慢げな2年生でした。



また、初めての鑑賞ガイドでは、自分の作った作品について詳しく説明することができました。おうちの人から「ここはかっこいいね。」「細かくできたね。」と言われてとても嬉しそうでした。鑑賞ガイドにお越しくださり、ありがとうございました。



3年

心をこめて作った作品に大満足!!

3年生にとっても初めての展覧会が終わりました。展覧会の準備が整えられた体育館に一歩足を踏み入れた時の「うわあ!」という声と表情。子供たちは、制作の日々から本番の2日間をとっても楽しんでいました。

3年生の平面作品では、想像の種から不思議な実がなる魔法の世界と、紙版画で自分の好きな動物の世界を表現しました。どの子も展示された自分の絵を誇らしげに見上げている姿がありました。立体ではふわふわの綿を自由自在に扱って自分だけのモンスターを作り上げました。3年生のモンスターはどれも愛嬌たっぷりで見てくださいました。かわいさから「かわいいね」とお褒めの言葉をたくさんいただいていた。そして共同作品は天井に大きく飾られていて、教室で見ている時とは全く様子が違うことに、子供たちはとても驚いていました。鑑賞ガイドでは、保護者の皆様にも早く自分の作品を紹介したくて仕方がないという気持ちがよく表れていました。子供たちは、作品をたくさん見ていただき褒めてもらったようで、教室に戻ってきたとき、充実感でキラキラした表情でした。ありがとうございました!



世界で一つの作品に65年の思いを込めて 夢いっぱいの展覧会にしよう

4年

今にも動き出しそうな動物たち！

4年生は小学校生活最後の展覧会です。平面作品では「自分色紙から始まる物語」「ほるとでてくる不思議な花」、立体作品では「まめっちハウス」、共同作品では「ダンシングシルエット」をつくりました。子供



たちは毎週の図工の時間が楽しみなようで、夢中になってつくっていました。制作しているうちに、友達の作品を鑑賞してよいなと思ったことを取り入れてみたりヒントを得たりなど様々な工夫があり



ました。26日(土)には保護者の方に鑑賞ガイドをしました。一生懸命に作った作品のよいところを紹介し、お家の人からも上手にガイドができたね、作品がとても素敵だねと褒めてもらい子供たちは大変嬉しそうでした。

5年

～アニマルいっぱいの作品が・・・～

5年生の作品もアニマルがかかわっています。自分のイメージしたジャングルを遠近感も考えて表現しようとした「ジャングルの生命」一枚の木から4本の足をアニマルの足に見立てた「アニマルチェア」生活の中で楽しく使える「ティッシュボックスカバー」そしてグループで取り組んだ「ボックスパイダー」を出品しました。どれも自分なりの表現ができました。



鑑賞ガイドでは、グループごとに保護者の方や地域の方々には自分の作品の工夫したところや他学年のおすすめの作品等を説明しながら鑑賞している子供たちの顔つきがとても真剣で、責任感をもって取り組んでいた姿が印象的でした。ガイドが終わると「しっかりガイドできたよ」と達成感あふれる顔で言っていました。行事を迎える度に6年生に向け一歩一歩成長しているということを実感した展覧会になりました。



6年

小学校生活最後の展覧会

6年生は3つの個人作品と学年全体で取り組んだ共同作品を展示しました。どの作品もアイデアを駆使し、個性あふれる心のこもった作品ばかりでした。また、友達や他の学年の作品を鑑賞することで、自分では思いつかないような作品を見ることができ、今後の学習活動の参考となる機会となりました。



土曜日に行われた鑑賞ガイドでは、自分の作った作品のよさや、工夫した点を文章にしました。自分の思いを言葉で説明するのは少し難しかったようですが、作品に対する思いを、一生懸命保護者に伝えていました。保護者の方々の「すごいね。」「上手だね。」という言葉がとても嬉しかったようで、照れながらも笑顔でガイドしている姿が沢山見られました。小学校生活最後の展覧会。体育館全体がひとつの作品になった、とても素敵な展覧会でした。

